

# JAITI 64

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団  
 事 務 所 〒386-0502 長野県上田市石武沖605-5  
 TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL [jaiti@janis.or.jp](mailto:jaiti@janis.or.jp)

## 今日のジャイチ



▲コロナ禍で学習環境が大きく変化し、学力にも影響が否めない状況が懸念されています。僻地ともいわれる地域にある学校の多くは全国レベルとの比較で低位にあり、レカリ・バシファント学校も同様の結果となっていることから、現地のジャイチネパールのスタッフによる監督指導が行われました。教師との懇談の様子

近隣諸国の動向に、にわかに国防という意識が高まる事が予想されます。ネパールで昨年11月に行われた総選挙では、これまで政権を担ってきた親インドの与党が単独過半数

に届かず、統一共産党や毛沢東主義派などの連立野党が新たな政権を担うことになりましたが、隣国インドと中国との関係にも影響を及ぼすものと思われまます。これからの政策がネパールの人々にとって明るいものとなることを期待したいと思えます。

このような状況をジャイチネパールでは、全般的にはコロナ禍に加えて、インターネットを介してオンライン授業を受けるためのスマートフォンやパソコンなどの機器が普及していないことなどがある中で、ブライター学校では前述のようにジャイチが頻繁に学習指導を行ってきたことの反面、バシファント学校での教育は村が主体となっていることから、一般的に公立学校は自治体の監督と管理が乏しいと言われるように、教育、学習環境においてそれほど熱心ではないことが一因ではないかと分析しています。

生徒たちとの懇談では、生徒たちがスタッフと自由に話し合うことができるように教師に退室をお願いし、教師たちの教育指導の態度、教室の設備や環境、学校運営など基本的なことについて質問し、日頃生徒たちが感じていることを聞き取りました。(2面へ続く)

新型コロナウイルスの感染拡大も実際に第8波を数えるまでとなりました。ウィズコロナの心構えも次々に変異するウィルスの逞しさには追いつけない状況が続いていますが、政府も感染防止のためにとってきたこれまでの行動制限を緩和し経済の再生、交流の促進へと方向づけがなされるようになり、恒例行事の再開や人出の増加が伝えられています。

2022年今年の漢字は「戦」と書かれました。未だに終結の見えない国家間の紛争の「いくさ」サッカーワールドカップなどスポーツ界での「たたかひ」など、いろいろの世相を反映しての漢字になったようですが、これまでになかったような

今回の結果はコロナ禍にあつて授業時間が大幅に妨げられたこともあり、全国的にも平年に比べて良くなかったようですが、ジャイチに係る学校でも日頃の学習の成果が分かる結果となりました。(表参照)

このような状況をジャイチネパールでは、全般的にはコロナ禍に加えて、インターネットを介してオンライン授業を受けるためのスマートフォンやパソコンなどの機器が普及していないことなどがある中で、ブライター学校では前述のようにジャイチが頻繁に学習指導を行ってきたことの反面、バシファント学校での教育は村が主体となっていることから、一般的に公立学校は自治体の監督と管理が乏しいと言われるように、教育、学習環境においてそれほど熱心ではないことが一因ではないかと分析しています。

生徒たちとの懇談では、生徒たちがスタッフと自由に話し合うことができるように教師に退室をお願いし、教師たちの教育指導の態度、教室の設備や環境、学校運営など基本的なことについて質問し、日頃生徒たちが感じていることを聞き取りました。(2面へ続く)

### SEEから見る二つの学校の学習成果は

ランク	全国平均合格率%	ブライター学校合格率%	バシファント学校合格率%
A+	0.59	0	0
A	3.09	0	0
B+	8.19	16.66	0
B	16.19	33.33	0
C+	27.10	25.00	7.89
C	26.27	8.33	5.26
D+	11.87	16.66	86.84
D		0	0
受検者数		12人	38人

▶政府機関から報告のあった昨年度末に行われた学力試験の比較結果表ランクAが上位になる



▲生徒だけの教室で聞き取りを行うグルン氏。生徒たちから活発に意見が出された

よりよい学校をみんなで作るために

こうした結果を踏まえて、ジャイチネパールでは、教育アドバイザーでもあるグルン氏らスタッフが12月1日・2日にバシファント学校を訪問して、学習方法の弱点を見つけ、教育活動の質を向上させるために必要な対策を講じることについて、教師や学校運営委員会をはじめ生徒たちとの懇談を行いました。

# ジャイチネパールから

## 学習にICTの活用を

長引くコロナ禍の中で、教育面でもオンラインによる授業の取組が急速に進められていますが、レカリ・バシファント学校において

も、ネパール教育省の方針に基づいて地区の教育事務所への支援を得て75インチの大型タッチパネルや学習アプリ、学校のウェブサイトなどの情報通信技術（ICT）を新たに導入し運用を開始しました。

これにより、学校ではスマートボード1台、大型タッチパネルが2台となり

ましたが、各クラスが順番で使用できるようにし、様々な情報を教師と生徒が共有しながら実践的な学習に繋げていくことにしています。

これらの機器を活用した授業に取り組むことにより、生徒たちが学習意欲を高め、より多くの分野に関心を示し、その分野により深く関わってこれることを目的としています。

一方、ほとんどの教師はまだこれら機器の使用に精通していないため日々習得のために努力しています。

保護者も、このような学習環境の整備によって、生徒と教師が積極的に教育と学



▲レカリ・バシファント学校に配備された情報通信技術（ICT）のスマートボードなどの機器。各教室とラインで結び教師と生徒が様々な学習に取り組み、学力の向上につながることを期待される

習活動に参加する姿勢を保ち、すべての生徒が楽しく学び、学習を持続できるようにすることを願っています。

ジャイチネパールも利用可能なICTを最大限に活用するよう提案しました。



▶新たな情報通信技術を利用した学習をどのように理解し活用していくか教員としても活用の指導力が課題となる

(ビム・ラル・グルン)

## 優秀な成績を納めた生徒と教師にお祝い

昨年9月8日の国民教育の日に、カカニ村が主催した式典がラニパウワで開かれ、教育開発局長、村長、それぞれの学校長をはじめ教師、保護者と生徒たちなどが参加して盛大に行われました。式典では、昨年度学年末に行われたS.E.E卒業学力試

験)において、優秀な成績を納めたカカニ地区内の学校の生徒と教師たちそれぞれに賞状が授与されました。

ジャイチが関係する学校では、カウレデビ・カカニ・ブライター学校の生徒であるアシカ・シユレスタさんが最優秀学生賞を、同じくブライター学校の英語と社会の教師ガンガラム・バクタ氏と数学の女性教師サンギタ・ルンバさんが最優秀賞を受賞しました。

式典の中で、教育開発局長は、今回のS.E.Eでは、過去に比べて全国的に試験結果が下落していることもあり、このような式典の席で生徒、教師を称えることにより、勉強の努力が報われることで、今後の学習においても励みになるのではないかと述べました。

話し合いの後、生徒や教師らから提起された問題と懸念をまとめ、前進するための方策について



▶学校関係者や保護者が出席して盛大に行われた国民教育の日の式典

(1面続き)

教職員とのミーティングでは、生徒の学習態度、保護者の協力、教材や仕事量、指導上の問題などについて話し合いました。

特に、理数科の教師とは基礎的な指導スキル、数学、科学、英語などの難しい科目で学力を高めるための重要なポイントとコツについて話し合い、それに応じて授業に活かしてもらうよう指導しました。

また、各クラスから選出された3名の生徒とクラスモニターで構成されている学生学習支援チーム(3Sチーム)とも学習条件を改善するための方法について意見交換を行いました。

話し合いの後、生徒や教師らから提起された問題と懸念をまとめ、前進するための方策について

・S.E.E結果の詳細を教師と学校運営委員会の間で共有し、保護者の学習に対する教育と委員会メンバーが積極的に教室を訪れ監督していくこと・教師が使用する宿題チェックフォームの見直し・学生学習支援チームを有効に使用すること・自治体の教育当局による監督、協力を一層お願いしたいなどの提案をしました。

(ビム・ラル・グルン)



▶学生の代表からなる学生学習支援チームとの話し合い



▶全クラスが集まる朝礼に学校運営委員会、自治体担当者も出席してもらい学習の課題について話すグルン氏



# ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

2022年7月1日〜2022年12月28日迄 順不同敬称略

## ◆ 人的協力

〈東京都〉  
滝和美

〈長野県〉  
ウツタム・タパ、柿島明子、菊池健介、株式会社北澤土建、有限会社佐藤新聞店、田口裕唯、田村由紀子、根岸厚次・真貴子

〈海外〉  
ネパール ホテルサンセット ビュー・アルジュン・シン／絃子・トラチャン

〈北海道〉  
小池靖子、内藤喜美子、水

## ◆ 寄附金

口馨

〈茨城県〉  
伊藤甫、折本拓郎、長谷川秀雄、藤井英雄

〈栃木県〉  
森聖哉

〈群馬県〉  
浦野元、小坂橋靖幸、島田昌俊、斉藤孝夫、島田寛治、土屋邦夫、堀越利通、

〈埼玉県〉  
齊藤節子、常陸民生、芳澤竹男

〈千葉県〉  
相樂洋子、小宮芳子、高橋節子、中根正義、向江夏詩、吉田秀子、

〈東京都〉

池田照子、石田昭夫、今井正史、小川金三郎・陽子、小川昌子、大田原房子、大畑直暉、小野寺えり子、尾身恭子、鎌田はなよ、神長善次、河野節子、黒田秀基、小池敏雄・敏裕、駒場智子、須田清、高橋伸迪、滝和美、三希子、田山豊實、中川晴子、西岡巖、野村明賢、正田英子、松田重篤、松本謙一

〈神奈川県〉  
加藤澄子、小林剛、小林みよ子、櫻井道子・小山佐都子、島田正義、高橋佳晴・友子、鳴嶋富美子、丸山進治・佳子

〈長野県〉  
株式会社アサマネット代表取締役 赤羽巧、白井千鶴子、内野倉千枝子、内山富之、小山田秀士、柿島明子、金子元昭、菊池健介、株式会社北澤土建北澤隆洋、北原千歳、坂井永一、澤山啓司、栗田真、武内美栄子、田村由紀子、土屋信子、中村彰、税理士法人長野合同経理センター、箱山年子、羽田文子、牧幸男、松久よし子、丸山幸雄、宮下篤、宮下静子、柳澤利文、六川慎彌、匿名の方、ジャイチ事務所寄附金箱

〈新潟県〉  
帯瀬憲五、小森修

〈岐阜県〉

庄村敏

〈愛知県〉  
伊藤正裕、岡本守弘、小園四男、城京子、矢野昭敏、

〈滋賀県〉  
岡田千尋、西村敏、松延宏昭

〈兵庫県〉  
石山唯、小野道彦、新海泉

〈和歌山県〉  
中前孝啓

〈鹿児島県〉  
西重正博

## ◆ 寄付品

〈岩手県〉  
佐藤朋子

〈千葉県〉  
久米智恵子、小宮芳子他10名

〈東京都〉  
池田照子、早川医院、滝和美、天明、ネパールの子ども達に文具を届ける会、森山アキ子

〈神奈川県〉  
堀内フサ子、三木美苗、吉川卓子

〈長野県〉  
小澤仁乃、菊池健介・道子、舟木公栄、益子輝之

〈和歌山県〉  
大野こまさ

〈大阪府〉  
鎌野富美子

〈兵庫県〉  
丸尾信

## ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

### ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れていきます。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

### 所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

- ①所得控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。
  - ②税額控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。(例 10,000円の寄附の場合 所得税が3,200円戻ります。)
- 上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。**  
(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

### 郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
  - ◎郵便振替 00510-4-65434
  - ◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
  - 座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

### カカニ農場にも

### 招かれざる厄介者が

昨年の春から本格的に稼働を始めた農場では、順調に育ててきたトウモロコシが収穫期を迎えた矢先、イノシシによつて全て傷つけられたと農場管理者から残念な報告がされました。

当農場に限ったことではありませんが、依然から野外生物による農作物への被害はあつたを絶えない状況ではありながら、これまで比較的寛容に過ぎてきたのではないかと思われまふ。

とは言え、作物を栽培する側からすれば、やはり豊かな実りを享受したい気持ちは誰しもが持っているはずなので、被害がくりかえされることになれば、意欲を失うことにもなりかねません。



▲イノシシの食害で裸同然になったトウモロコシ畑

日本の農村部の例を見ても有害鳥獣による被害によつて耕作を放棄される農地は至る所に存在しているのが現実となつていきます。

ジャイチの活動の柱として、ネパールの農村地域の振興に大きな役割を果たしてきたカカニ農場が今後も善良に維持されるために、現地担当者とともに研究し、それなりの対策を講じていく必要があります。



▲ネパールの秋は祭りの季節。各地で色鮮やかに祭典が繰り広げられます。ヒンドゥー教徒が祝うネパール最大のダサインに続いてティハルの祭りで賑わいます。里帰りをした親族と喜びを分かち合うひと時でもあります。コロナ感染拡大が落ち着いたのかマスクを着用する人の姿はあまり見られなくなつていふです。

### 学校施設の維持に

### 継続したご支援を

ジャイチが開発途上国ネパールの農村部における子どもたちの基礎教育の向上をめざして建設したレカリ・バシファント学校は、一九九三年に一年生を受け入れてから今年で30年の歳月を数えます。

この間、支援者に大きな財源提供をいただき、管理棟、職員棟をはじめ10年生までの教室棟を順次整備してきました。二〇二二年に公立学校としてすべて地元運営となり、地域としても模範となる学校づくりに取り組んでいます。

年数と共に施設も補修すべき箇所が多くなつてきているものの学校予算は乏しく、ジャイチもメンテナンスの支援を毎年継続して行つていますが、十分とは言えない状況のため、一層のご支援をお願いいたします。



▲雨漏り等で無数の箇所に穴が開いた教室のベニア板の天井。応急処置もままならない

### 物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りいたしますとともに、これまでのご支援に感謝申し上げます。

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 石上昌子様  | 二二年一月  | 神奈川県鎌倉市 |
| 田辺正則様  | 二二年三月  | 神奈川県川崎市 |
| 小池 猛様  | 二二年六月  | 千葉県柏市   |
| 齋藤 敏様  | 二二年十月  | 長野県長和町  |
| 加藤敬弘様  | 二二年十月  | 群馬県高崎市  |
| 丸山伊佐夫様 | 二二年十一月 | 長野県長和町  |
| 森 精様   | 二二年十一月 | 東京都杉並区  |
| 塚田正己様  | 二二年十二月 | 長野県上田市  |
| 翠川逸明様  | 二二年十二月 | 長野県長和町  |



### 事務局だより

#### ▼ジャイチ

- 7月 ・内閣府へ役員変更届提出  
・機関紙63号発送
- 9月 ・丸子国際交流事業に参加  
・国際交流フェスティバル佐久Web開催
- 12月 ・理事会 令和4年度上半期業務執行状況の報告  
・機関紙64号企画・編集

#### ▼ジャイチネパール

- 7月 ・政府機関から卒業試験の結果公表・カカニ・ブライター学校が地域でトップクラス
- 8月 ・学校夏休み  
・グルン氏は新型コロナに、KC氏はデング熱に  
・バシファント校にICT導入
- 9月 ・両学校へ訪問指導  
・10月末まで秋祭りのため休校  
・国民教育の日式典に参加
- 10月 ・在ネパール日本大使館員バシファント学校訪問
- 12月 ・バシファント校で学力向上の指導

### 書き損じハガキを送って下さい。未使用も歓迎

年賀ハガキの書き損じ・余りなど…

(古いものでもかまいません)  
(切手に交換し、通信費に役立たせていただきます。)

### 使用済切手も集めています。未使用も歓迎

(切手の周りを5ミリほど残してください)

### 編集後記

コロナウイルス感染拡大防止の有効手段としてマスク着用が常態化し、いまだに様々なマスクが人々の顔を覆っています。

ネパールを訪問することになった10年ほど前、砂ぼこり対策として必ずマスクを持参とあり、それまでマスクが必要だったのは風邪をひいたとき位だったため、そこそこ買い入れてカバンに入れたものでした。

時は流れて新型コロナ蔓延の危機。マスクは店頭から消え社会問題となり「安倍のマスク」なるもので出現。幸い自分は例の買い置きで凌ぐことができたのは何たるめぐりあわせネパールさまさま……かも